

荒木

肩の荷下りた

そろって2200万円減

中日・浅尾拓也投手(31)が7日、ナゴヤ球場に隣接する選手寮「昇竜館」で契約交渉し2200万円減の9800万円でサインした。今季もシーズン通して十分な仕事が出来たはず、6年ぶりに1億円の太台割れ。巻き返しの来季に向け、今オフはメジャーリーグを見習って筋力トレーニングを増やし、強い体をつくる。また、荒木雅博内野手(38)も2200万円ダウンの8800万円でサイン。来季のテーマに「明るさ」を掲げた。

8800万円 9800万円

大台陥落



20パーセント減額で契約更改し、「来季はとにかく明るく」と記者会見で話す荒木

引け目あった

2006年から10年間守ってきた1億円の引け目を感じていた。だが、荒木は20%減の8800万円にサインした。肩の荷が下りたかな。それでも出場の試合数は減少。97試合で、打率2割5分1厘、0本塁打、13打点。出場が100試合に到達しなかったのは2000

来季は野手陣最年長 明るく自然体でチーム引っ張る

◆荒木の年俸推移と年度別打撃成績◆

年	推定年俸(万円)	試合	打数	安打	打点	本塁打	四死球	盗塁	三振	打率
96	600		1				なし			
97	620	63	67	12	0	0	2	0	16	.179
98	1200	7	1	0	0	0	0	0	1	.000
99	1200	16	4	1	0	0	0	1	4	.250
00	1100	40	10	2	0	3	4	3	48	.200
01	1200	111	272	92	23	4	21	13	48	.338
02	3000	131	406	105	18	2	12	16	59	.259
03	3600	133	417	99	41	3	28	16	68	.237
04	4500	138	602	176	44	3	28	39	87	.292
05	9000	145	623	181	41	2	41	42	74	.291
06	13000	112	464	139	31	2	27	30	49	.300
07	14000	113	457	120	25	1	22	30	55	.263
08	13500	130	538	131	28	4	27	32	81	.243
09	15000	140	582	157	38	2	39	37	70	.270
10	17500	136	579	170	39	3	40	20	73	.294
11	20000	135	543	143	24	2	39	18	73	.263
12	20000	129	510	128	31	3	21	12	65	.251
13	17000	105	338	75	19	1	26	12	63	.222
14	10200	109	395	106	21	0	42	17	63	.268
15	11000	97	211	53	13	0	20	9	31	.251
16	8800									
計		1990	7019	1890	441	32	435	360	950	.269

◆浅尾拓也の年俸推移と年度別投手成績◆

年	推定年俸(万円)	試合	勝	敗	セーブ	投球回	被安打	被本塁打	奪三振	与四死	失点	自責点
07	1200	19	4	1	0	51	51	5	40	20	21	20
08	1700	44	3	1	6	50	43	0	35	12	47	10
09	3500	67	7	1	9	113	108	6	96	30	47	44
10	7500	72	12	3	1	80	60	4	75	11	16	15
11	13500	79	7	2	10	87	57	0	100	17	5	4
12	26000	29	1	0	1	30	21	0	29	9	6	5
13	22000	34	2	3	1	30	26	2	19	15	14	13
14	16500	22	1	1	0	19	17	4	20	14	13	13
15	12000	36	1	1	3	31	31	3	34	18	11	11
16	9800											
計		402	38	21	23	493	414	24	448	146	136	127

【注】白文字はタイトル

【注】10、11年は最優秀中継ぎ投手のタイトル獲得

雰囲気改革

年以來だった。だが、このままでは終わるつもりはない。荒木は「来季はとにかく明るく」と記者会見で話す。肩の荷が下りたかな。それでも出場の試合数は減少。97試合で、打率2割5分1厘、0本塁打、13打点。出場が100試合に到達しなかったのは2000



初めての契約更改交渉を終え、記者会見する浜田

47%減 750万円 26%減 750万円

ルーキーの浜田智と井領が初めて契約更改交渉に臨み、それぞれ限度額いっぱいの25%減となる750万円サインした。1軍で1試合の出場にとどまった浜田智は「結果が全てなので覚悟はしていた」と振り返り、来季に向け「この秋でフォームを固めたい」と意欲。ポスト和田の外野争いに名乗りを上げたい井領は「結果が出せずにふがいない。走攻守でレベルアップして使いやすい選手になる」と見据えた。



初めての契約更改交渉を終え、汗をぬぐう井領

★金額は推定
レイアウト☆掛川 範章